

ほけんだより～生教育講演会号～



令和4年11月29日

龍ヶ崎市立龍ヶ崎中学校 保健室

文責：

いのち

「自分を大切に生きてために～君は愛されるために生まれた～」

11月18日（金）2年生対象に、龍ヶ崎済生会病院産婦人科医 陳 央仁先生を講師としてお招きし、生教育講演会を行いました。講演前の事前アンケートでは「性感染症って何？」「自分のことが好きになれない」「生きている意味って何だろう」などマイナス的な考え方を持っている人もいましたが、講演会では真剣に陳先生の話に耳を傾け、生命誕生や生きていることの素晴らしさを再確認できたことがアンケート結果からわかりました。

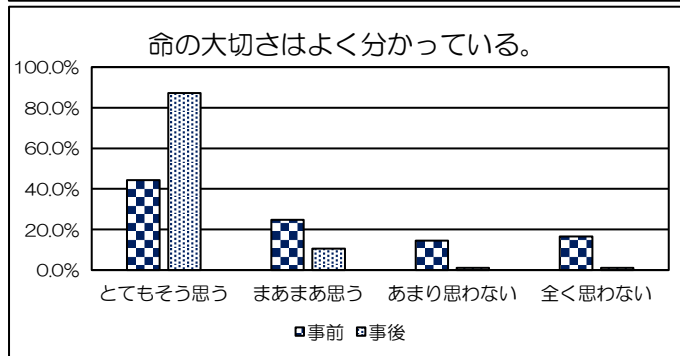
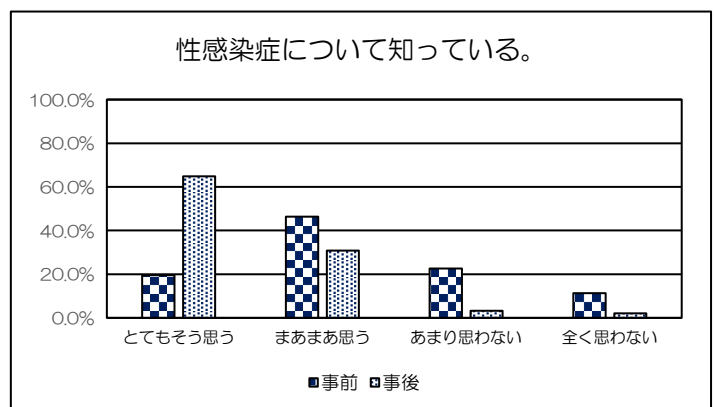
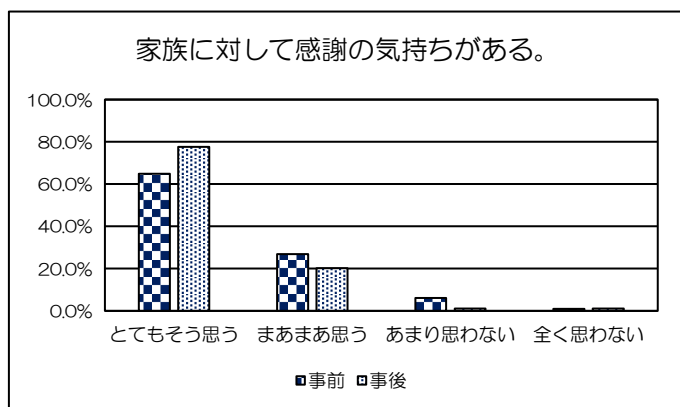
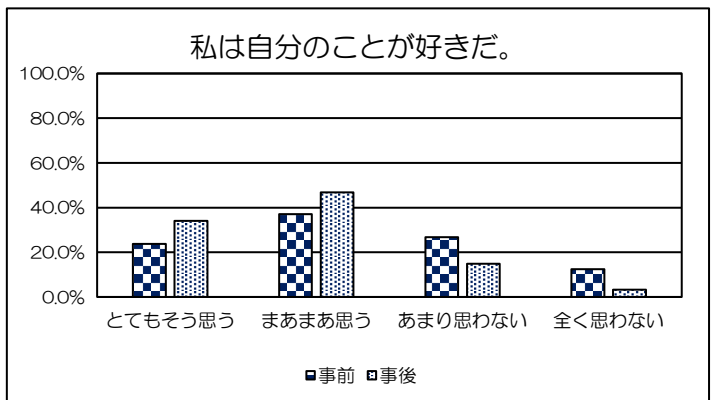
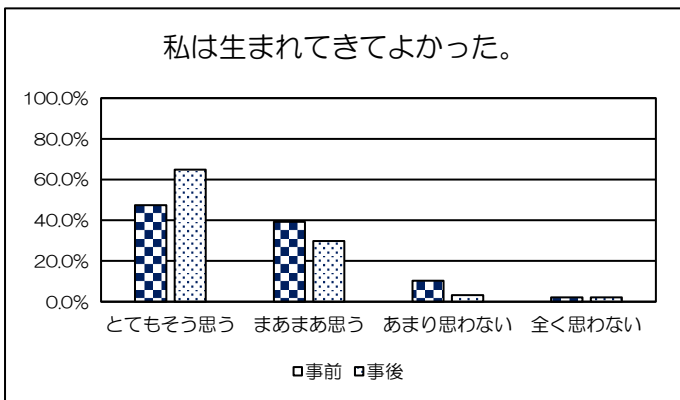
講演の内容

- 自己紹介～医師を目指すきっかけや道のり～ ○性感染症を知る
- 「14歳の母」から妊娠・出産を考える ○生命誕生の奇跡～胎児の成長～



アンケート結果

2年生97名



生徒の感想

陳先生の話を書く前は、生まれてきた理由が分からなくて「お母さんが産んだから私は今生きているだけなんだ」と思っていました。でもそれは少し違って、私は幸せになるため、幸せにするため、命のリレーをつなぐため、愛されるために生まれてきたんだと考え直すようにしました。

今も友達や親に助けられながら生きていることが再認識できた。自分自身も命のリレーを伝わって今、存在しているけど、失敗ばかりが続いて役に立たないと思っていた。でも大切な友人に助けられたから今がある。周りの人に感謝しながら生きていきたい。

講演を聞く前は何で生まれたのか、何で選ばれてこの世に誕生したのか考える時がありました。今日の講演を聞いて生きる意味が分かった気がします。私は、「愛されるために生まれてきた」という言葉を聞いて、自分を愛してくれる人がいると思うと、今後の人生に自信がつき、その愛してくれる人に感謝したいと思いました。これからは自分の命を大切に、生きていきたいです。

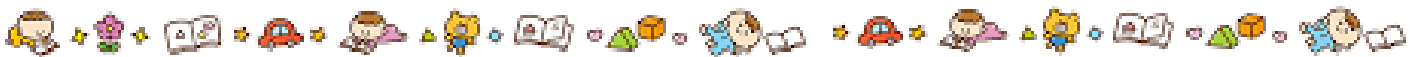
お母さんから僕の出産時に陳先生が立ち会ってくれたと聞いていました。本当にありがとうございました。

今日聞いた内容で、女性はずごいんだな。と思いました。人は簡単に生まれてくるのかと思っていたけど、宝くじの10億円が当たるよりも難しいということにとってもびっくりしました。母親は僕のためにすっごく頑張ってくれたんだなと強く感じられました。

生まれてきて本当によかったと実感できました。

自分が今を生きてよかったです。目標を見つけ、良い先生や良い仲間と助け合って生活したいと改めて思いました。

また性感染症でも治せるものと治せないものがあることが分かりました。アシュリーの「どう幸せに生きるか」「私が私らしくいること」という言葉がとても印象に残りました。



小学生の頃の講演は、何となく聞いていたけれど、今回改めて聞くと命の大切さ、一人一人の大切さ、自分の大切さについて深く考え、学ぶことができました。まだ自分のことを好きと言い切ることはできないけど、自分が生きているだけで百点満点という言葉大切に少しづつ自分の良いところを見つけて好きになっていこうと考えました。また、手足のない男性が自分の力で諦めず立ち上がる映像を見て、何回失敗しても立ち上がればいいと思いました。

中学2年生ってすごく大変で苦しいです。自分のやること一つ一つが辛く感じられて逃げてしまいそうになります。でも、陳先生の「将来の自分を想像してみる」という言葉に救われました。今日の講演は、沢山の驚きと発見があり未来の自分を救ってくれそうな言葉があふれていました。まだ14歳だけどもう14歳。他人事だと思わず、生のことも真剣に考えなければならぬと思い始めました。命のバトンをつないでくれた両親に感謝して、私自身も命のバトンを受け渡す側になれるようにしたいです。

